



平成26年10月31日
在宅医療連携拠点推進事業・地域包括ケアモデル事業 合同活動報告会

在宅医療連携拠点推進事業
地域包括ケアモデル事業（医療・介護等一体提供モデル）

けやきいきいきプロジェクト

豊明市

豊明市役所
健康福祉部 高齢者福祉課
地域ケア推進担当係 矢野真由美

藤田保健衛生大学
地域包括ケア中核センター
都築 晃

豊明市の概況



- ・愛知県のほぼ中央に位置する
名古屋市のベッドタウン。
- ・人口68,448人（28,112世帯）
うち、高齢者人口 16,131人
- ・高齢化率 **23.6%**（地域差あり）
- ・総人口は減少傾向で推移。
年少人口、生産年齢人口とも減少
する一方で、高齢者人口は増加。

■ 豊明市の保健・医療に関する社会資源

病院3（藤田保健衛生大学病院、桶狭間病院藤田こころケアセンター、豊明栄病院）
医療機関39、歯科医療機関39、薬局25、訪問看護3、訪問リハビリ3

- ◆医師会 ： 東名古屋豊明市医師会
- ◆薬剤師会 ： 日進東郷豊明薬剤師会

- ◆歯科医師会 ： 愛豊歯科医師会豊明支部

■ 豊明市の介護・福祉に関する社会資源

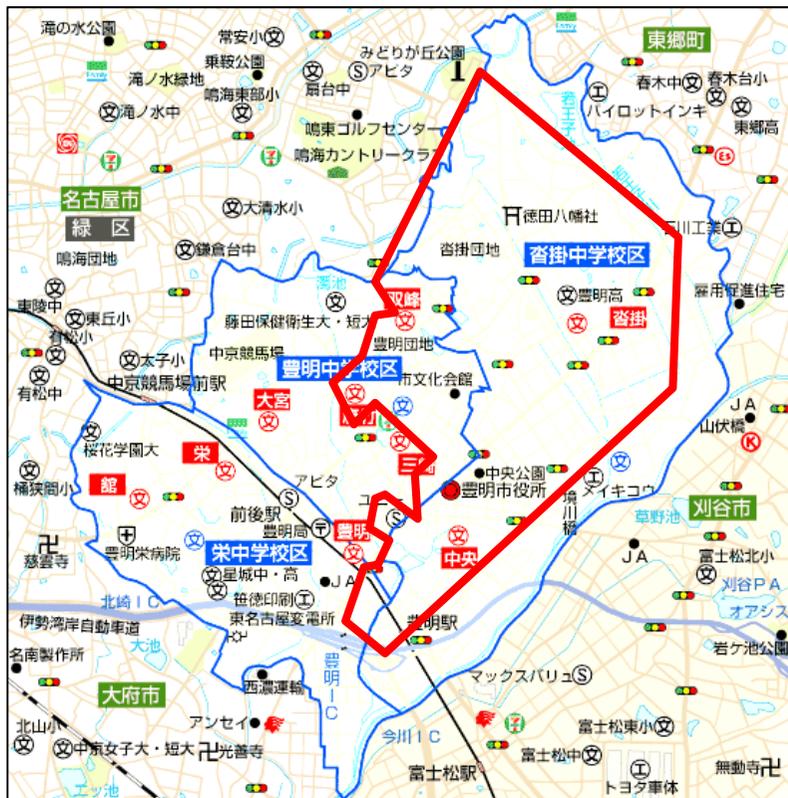
地域包括支援センター2（H24より委託）、特別養護老人ホーム4、老人保健施設2
特定施設2、小規模多機能居宅介護1、認知症対応型共同生活介護3
居宅介護支援事業所10



豊明市モデル地区の特徴

(豊明市 北部地区)

モデル地区 北部地区の特徴



■ 北部地区の概要

・緑豊かな自然と古い歴史にはぐくまれた沓掛町、高度経済成長期に建設された豊明団地（5階建て全55棟）のある二村台、名古屋都市圏の住宅地区として発展してきた新田町・大久伝町・阿野町・西川町よりなる。

・人口**35,765人**（14,740世帯）のうち
高齢者人口 7,917人

・高齢化率 **22.1%**（地域差あり）

・北部地域包括支援センター所管区域

■ 北部地区選定の理由及び地区の課題

- ① 高齢化率が高く、高齢者独居世帯・高齢者夫妻世帯の増加が進む豊明団地がある。
- ② 地域包括ケア中核センターが新設された藤田保健衛生大学がある。
- ③ 豊明市北部地域包括支援センターをはじめとする介護・福祉に関する社会資源が揃っている。
- ④ 藤田保健衛生大学・UR都市機構・豊明市における地域包括ケアを支える拠点（住居・支援拠点等）づくりをすすめている。

豊明市の地域包括ケアに関する強みと弱み

藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センターとの協力

- ・訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所
を開設
- ・大学機能を生かした
多職種の地域人材育成
- ・地域に対する介護予防
推進



U R 都市機構との包括協定

- ・超高齢社会に向けた団地の地域の医療福祉
拠点化に向けて
包括協定締結
- ・全国100団地
拠点に選定



ICT 在宅医療・福祉統合ネットワーク 「いきいき笑顔ネットワーク」の運用

- ・在宅医療介護
連携へ向けた
ICTによる
多職種連携
チーム支援



学校法人藤田学園との包括協定

- ・藤田保健衛生大学・藤田保健衛生大学病院との
多分野での連携協力に関する包括協定締結



■ 豊明市の地域包括ケアに関する強み

- ・藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターとの協力
- ・ICT 在宅医療・福祉統合ネットワーク『いきいき笑顔ネットワーク』の運用
- ・U R 都市機構との包括協定
- ・学校法人藤田学園との包括協定

◆ 医療福祉に関する社会資源が豊富であり、「いきいき笑顔ネットワーク」の運用など以前から在宅医療福祉連携に取り組んできた基盤がある。

■ 豊明市の地域包括ケアに関する弱み

- ・市内の在宅療養支援診療所や市民病院がない。また、在宅支援に取り組む歯科医療機関や薬局が少ない。
- ・保守的な土地柄でNPO活動が乏しく、行政に対して依存的な市民の気風がある。
- ・医師会・歯科医師会・薬剤師会の圏域範囲が異なるため、調整が難しい点もある。

■ 今後の活動への期待

- ・26年度中に立ち上がる定期巡回随時対応型訪問介護看護を含む在宅医療福祉連携体制の構築。
- ・在宅医療福祉連携に関しては、広域連携調整や医療計画への地域意見の反映など、保健所との連携に期待したい。



豊明市の担当組織

豊明市の担当組織

健康福祉部 高齢者福祉課

介護保険係

介護保険サービス、介護認定 等
課長補佐兼担当係長（事務職）
係員4（事務職）、臨時職員3、認定調査員

高齢者係

高齢者福祉サービス 等
課長補佐兼担当係長（事務職）
係員1（事務職）

地域ケア推進係

介護予防、在宅医療福祉連携、認知症対策、権利擁護、
地域包括支援センター支援、介護保険計画策定 等

担当係長（保健師、精神保健福祉士、ケアマネ）
係員1（保健師）
係員1（事務職）
臨時職員1（看護師）
臨時職員1（ケアマネジャー）

H25年度に新設

- 少人数で多分野にわたる業務を行っている。市の職員定数削減計画がすすめられる中、増員は困難な現状。
- 多分野にわたる業務過多な反面、認知症対策と在宅医療福祉連携を一体的に事業展開できる、介護保険計画に反映しやすいといったメリットもある。
- マンパワーが不足している分、藤田保健衛生大学・名古屋大学・地域の医療福祉関係機関・地域包括支援センター等と積極的に協力連携体制を構築し、地域包括ケアづくりの推進エンジンとしている。



地域の顔の見える関係づくり

多職種チーム支援を推進するための取り組み

24年度 医療機関ヒアリング

〔ヒアリング機関〕 豊明市内の内科・外科全医療機関

〔実施方法〕 地域包括支援センター職員と高齢者福祉課担当職員により訪問ヒアリング

〔収集意見〕 在宅医療に関する危機感は薄い、重要だという認識は共通。通常診療が多忙で思うように動けない、スタッフが不足、終末期は困難といった声も多い。ICTは不得意という声も。

25年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修事業(愛知県モデル事業)

〔実施方法〕 プログラム検討会 (医療福祉多職種による検討会議)

研修会 3日程 (講演、グループワーク)

〔参加者意見〕 市の医療・福祉などに関する実態報告は参考になった。気さくに医師・薬剤師らと意見を交わせるグループワークがよかった。同職種間の交流もしてみたい。

26年度 医療福祉関係機関ヒアリング

〔参加機関〕 2地域包括支援センター、北部地域包括支援センター、社会福祉協議会居宅介護支援事業所、清水会ケアプランニングセンター豊明、ひまり訪問看護ステーション、藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センター (訪問看護)

〔実施方法〕 市役所にてグループセッションによりヒアリング

〔参加者意見〕 中核センター(訪問看護)は緩和ケア科と連携して、在宅での看取り支援も始めている。在宅望む声もある一方、いざという時の不安訴える家族多い。地域への啓蒙必要。

26年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修事業

多職種チーム支援を推進するための取り組み

多職種協働による在宅チーム医療を担う 人材育成研修事業 〔藤田保健衛生大学への委託実施〕

- ・プログラム検討会 2回
医療福祉多職種による検討会議
- ・研修会 4回
がん療養、認知症、在宅歯科、薬剤支援
CKDをテーマに講演、グループワーク
懇親会
- ・同職種勉強会 2回
ケアマネ、訪看、訪リハによる



【豊明市委託】2014年度 多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成研修会

医療福祉多職種がお互いの専門的知識を深めながら、チームとなって
患者・家族を支える地域の体制を整えるため、下記のとおり研修会を行います。

参加費無料
申し込みは別紙にて

交流・グループワーク
各回とも、約60分の
グループワークを予定

全4回
1回のみ参加も可能
豊明市の現状報告あり

懇親会
各回終了後に、
軽食を含めた懇親会を
予定

【第2回 研修会】
■日時：10月26日(日) 14時～16時20分
■会場：豊明市商工会館

■プログラム
○講演1「認知症ケアにおける病院から在宅への退院支援(仮)」
医療法人 晴和会 あさひが丘ホスピタル 名誉院長 柴山 漢人 先生
○講演2「認知症ケアと在宅にむけての取り組み」
橋狭間病院藤田こころケアセンター 佐藤 尚美 看護長
○「豊明市の現状報告2」 豊明市役所高齢者福祉課
○交流・グループワーク「認知症患者の在宅支援における課題と解決案について」
○懇親会 予約制 懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

【第3回 研修会】
12月7日(日)14時～16時20分 会場：豊明市商工会館
○「歯科診療と在宅支援(仮)」
藤田保健衛生大学病院 歯科口腔外科 松尾 浩一郎 教授
○「訪問薬剤指導と在宅支援(仮)」
薬剤部 講師交渉中
○「豊明市の現状報告3」 ○交流・グループワーク ○懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

【第4回 研修会】
1月25日(日)14時～16時20分 会場：豊明市文化会館ギャラリー
○「CKDにおける在宅支援(仮)」
医療法人豊水会みずのクリニック 理事長 水野 潔夫 先生
○「CKDと在宅生活につなげる看護」
藤田保健衛生大学病院 看護部 透析看護認定看護師 辻井 しず 看護長
○「豊明市の現状報告4」 ○交流・グループワーク ○懇親会(会場にて軽食をご用意します。参加費500円)

受付終了した研修会
【第1回 研修会】■日時：10月4日(土) 14時～16時20分 ■会場：豊明市商工会館

■プログラム
○講演1「がん患者のケアとリハビリテーション・在宅への退院支援」
藤田保健衛生大学病院 医療連携福祉相談部 副部長 加賀谷 斉 准教授
○講演2「がん患者のケアと訪問看護の取り組み」
藤田保健衛生大学訪問看護ステーション 小島菜保子 看護科長
○「豊明市の現状報告1」 豊明市役所高齢者福祉課
○交流・グループワーク「がん患者の在宅支援における課題と解決案について」

【問合せ・申込先】 藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター 河村・都築
問い合わせ：TEL(0562)93-3706 申し込み：FAX(0562)93-3705 E-mail kurimoto@fujita-hu.ac.jp



地域の運命共同体の設置と課題

豊明市地域包括ケア連絡協議会

地域包括ケア体制構築に向けた各部会の取組状況の報告と課題の検討
平成26年4月設置 地域ケア会議の施策検討レベル会議として位置づけ

代表者会議

多職種人材育成研修
プログラム検討会

多職種連携や人材育成研修内容の協議
〔藤田保健衛生大学に委託〕

同職種勉強会

ケアマネ

訪問看護

訪問リハビリ

同職種による情報共有等

ICT医療福祉
連携部会

いきいき笑顔ネットワーク
運営委員会

定例ミーティング

名古屋大学医学部附属病院先端医療臨床研究支援センターサポートのもと、具体的取組について検討

入退院
調整部会

病院から在宅生活への移行時の関係機関同士の連絡調整等について情報共有・体制整備

見守り生活
支援部会

見守り・生活支援の具体的なサービスや取組みについて、市民参加のもと検討

